

当社における CSR 基本方針について

赤司製線株式会社

近年、企業を取り巻く環境の多様化、企業活動のグローバル化や情報コミュニケーション技術の発展など、持続可能な社会に向けた取り組みへの機運が高まっています。また、地球温暖化を背景とするカーボンニュートラルへのシフト、感染症によるパンデミックや労働者の人権問題など、国際社会における環境の変化に伴い、企業への社会的な要請も日々変化しています。

こうした中、当社では「企業の社会的責任（CSR）」に関する基本方針を策定することとしました。製品の提供だけでなく、CSR の観点に基づき、持続可能な社会への貢献に努めてまいります。

品質・安全

製品の品質向上に努めるとともに、必要に応じて製品に関する適切な情報をお客様に提供し、顧客の安心・安全に十分に配慮致します。

リスクマネジメント

緊急事態を想定し、事業活動において起こり得るリスクを防止・低減するための取り組みを行います。

法令等の順守

事業活動に関連する法令・条例等を遵守します。

情報資産の管理

お客様・第三者・自社従業員の個人情報およびお客様・第三者の機密情報は、正当な方法で入手するとともに、厳重に管理・保護し、適切な範囲で利用します。

不当な利益供与および政治献金の禁止

公務員に対して、業務上の見返りを得るためのいかなる利益供与も行いません。また、議員や政党、公職員に対して献金を行いません。

一定水準を超える贈答品の授受および接待の禁止

法律や商習慣を逸脱した贈答品や金品の授受および接待を禁止します。

自由で公正な競争の支持

競合他社に対する取引妨害、競合他社の新技術や新製品情報の不正入手等の行為は行いません。

利益相反の禁止

従業員の私的な利益のために会社の利益を損なう行為を禁止します。また、従業員の親戚縁者、親しい友人が勤務または所有・経営する取引先と取引する場合にも、不正と疑われることのない適切な取引を行います。

従業員との対話の促進

従業員と直接あるいは従業員の代表と、誠実に対話・協議し相互に信頼関係を築きます。

多様性の尊重と差別の排除

差別のない多様性ある職場環境を実現するために、雇用および昇進において、国籍、人種、民族、性別、性的指向、性自認、年齢、出身、学歴、縁戚関係、障がい、宗教、雇用形態の違い等を理由に差別を行いません。

人権の尊重

人権を尊重し、強制労働や児童労働は行いません。また、性的嫌がらせを含むあらゆるハラスメントを行いません。

安全で健康的な職場環境の確保

労働安全衛生に関する法令を遵守し、安全で健康的な労働環境の確保に努めます。

適正な人事処遇の実施

労働に関する法令を遵守し、全従業員に公正な労働条件を提供します。

環境保護活動の推進

環境法令を遵守するとともに、自主的な目標を設定し、それらを達成するために環境保護活動を積極的に推進します。

社会貢献活動の実施

地域社会の一員として豊かな社会づくりを目指し、ステークホルダー（利害関係者）との積極的な対話に努めます。

責任ある鉱物調達

強制労働や児童労働をはじめとした人権侵害・環境汚染等の深刻な社会問題を引き起こす可能性のある紛争地域およびハイリスク地域において、社会問題に由来する鉱物の使用を回避するために、仕入先と協力してそれら鉱物の使用状況を調査し、懸念がある鉱物の使用がある場合は不使用に向けた取り組みを実施します。

ステークホルダーへの情報開示

経営、環境、コンプライアンス等に関する情報をステークホルダーに対して適宜・適切に開示するとともに、オープンで公正なコミュニケーションを通じてステークホルダーとの相互理解、信頼関係の維持・発展に努めます。

以上

2026年2月27日
赤司製線株式会社
代表取締役 金山 敦
CSR 責任者 齋藤 達也